

## Best of 燃費賞



今回の Best of 燃費賞には 2 度目の受賞の

戸塚和広さんに決定いたしました。

トラックが古いにもかかわらず、真冬で高燃費をたたき出しました！！

前回の Best of 燃費賞に引き続き 2 度目の受賞ですが、どのような事に気をつけ、努力をされていましたか？  
速度に気をつけて、控えめに運転し、丁寧な運転を心がけました。



【ひかえめな運転】【丁寧な運転】素晴らしいです。

その結果が数字に現れました！！

## Best of 車両管理賞



今回の Best of 車両管理賞には 3 度目の受賞の

蟻川成一さんに決定いたしました。

朝、AM 4:00 に帰社してどんなに寒くてもきちんと洗車を行っていました。

Best of 車両管理賞は 3 度目の受賞ですが、今回はどのような事に気をつけ、努力をされていましたか？

始業点検、荷台の整理整頓、洗車、車両の整備など基本的な事は実行しています。車両管理を怠ると、様々な弊害が生じるので、最近では“面倒くさい”と感じない様に目の届かない所をキレイにする様に心がけています。それと荷主先や荷受け場などで汚れている車は印象が悪くなります。トラックの清潔さも信頼のポイントになると思います。



いつも新車同様の蟻川君のトラックは 5 年選手のトラックですが、

同級生のトラックは何台もありますが一番ピカピカです。

### 『編集後記』

いよいよ 4 月 1 日より「働き方改革関連法施行」がこの業界でもスタートしました。物流 DX プラットホーム「トラボックス（株）」の調査では、2024 年問題を解決せずに 4 月 1 日を迎えてしまった会社が全体の 61% となっていますが、私的にはもっと多いように見受けられます。弊社ではドライバーさんの協力を得て「100% 対応」となりました。これからのどのような波が来ようと乗り越えて行きたいと思います！



代表 熊澤美恵子

# Jump Hidaka.co.

2024 年 春号 NO.236

行動範囲が広がる春だからこそ、車の運転には注意が必要です。

## 真い春から暖房と居眠り

春は陽当たりが良く、車内も冬と比べて暖かくなります。暖かさで心地良くなり、つい眠気を感じてしまう方も多いのではないのでしょうか。春は居眠り運転のリスクが高まるので、いつもよりも念入りな眠気対策を心がけましょう。

## 症状が出やすい春の花びら症

春は花粉が舞い上がりやすい季節でもあります。たった 1 回のくしゃみやみても、運転中に目を閉じる行為はとて危険です。鼻水や涙目などの症状が組み合わされば、ハンドルから手が離れる機会が増えるだけではなく、集中力・判断力にも影響を及ぼします。そのため車内であっても、花粉症対策を怠らないように注意しましょう。

## 甘い情感と安易な判断による飲酒運転

お花見や歓迎会など、季節特有のイベントが多く、自然とお酒を飲む機会が増えやすいのも春の特徴です。普段飲まない人も、イベントともなれば周りからの勧めで飲酒するケースも考えられます。安易に車に参加するのではなく飲酒する可能性が少しでもあれば車の利用は避けましょう。

## 春に多い初心者・慣れドライバー

春になると、運転免許を取得したばかりの初心者ドライバーが増える傾向にあります。入社間もない観光ドライバーや、引越用にレンタカーを運転しているドライバーも含め、慣れない車で運転する方への配慮も必要でしょう。また、そんなドライバーを見て、焦りやイライラを感じてしまう方もいるのではないのでしょうか？トラブル・事故を防ぐためにも、優しい気持ちで見守ることが大切です。

## 新入生・新社会人の慣れない通学通勤

春先は新入生・新社会人が多く、慣れない道を通学・通勤しています。走り慣れている道でも、いきなり人が道に飛び出してくる、道を横断するといった可能性も否定できません。そのため春は、走り慣れている道であっても、十分な注意を心がけることが大切です。

## 天候による環境トラブル

春先は強い風が吹き荒れやすい季節でもあります。風の影響でハンドルが取られるケースも少なくないため、強風が吹いている日は無理に運転をせず、周囲の様子や天候を確認しましょう。

## 「かもしれない運転」への意識低下

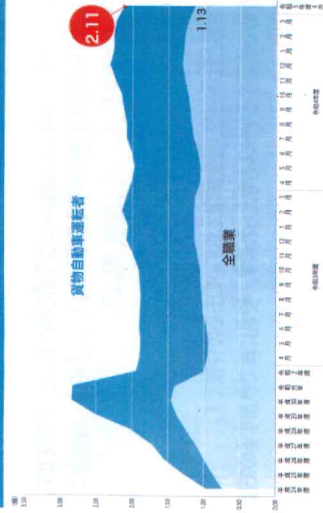
安全運転には、「人が飛び出してくるかもしれない」「前の車が急ブレーキするかもしれない」など、「OOかもしれない」という意識を維持することが大切です。「疲労」が原因で運転意識が低下する可能性もありません。

安全運転の基本を忘れずにドライブすることを心がけましょう。

# 物流の 2024年問題を 知っていますか？

2024年4月からトラックドライバーの時間外労働の960時間上限規制と改正改善基準告示が適用され、**労働時間が短くなることで輸送能力が不足**し、「モノが運べなくなる」可能性が懸念されており、このことを「物流の2024年問題」と言われています。

有休未消化率の推移について



いまトラック業界では、**トラックドライバーが不足**しています！

## 荷主と運送事業者の協働による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン より

### 改善に向けたステップ

- ステップ 1** 荷主とトラック運送事業者の双方で、トラックドライバーの労働条件改善の問題意識を共有し、検討の場を設ける
- ステップ 2** 労働時間、特に待ち時間や荷役時間の実態を把握する
- ステップ 3** 待ち時間の発生等、長時間労働の原因を検討、把握する
- ステップ 4** 荷主とトラック運送事業者の双方で、業務内容を見直し改善に取り組む
- ステップ 5** 荷主とトラック運送事業者間での応分の費用負担を検討する
- ステップ 6** 改善の成果を測定するための指標を設定する
- ステップ 7** 指標の達成状況を確認、評価することでさらなる改善に取り組む

### 取引環境と長時間労働の改善



荷主とトラック事業者が  
**連携して取り組んでいただきたいこと**

**01** 待ち時間、待期時間の削減

- 予約システムの導入
- 出荷・受入れ体制の見直し

**02** 作業削減など労働環境の改善

- パレット化による手荷役作業の削減
- 情報の共有化、DXによる業務効率化等

**03** リードタイムの延長

- 長距離運送は中1日を空け、満載での効率的な輸送



トラック事業者から  
**荷主にお願いくること**

**01** 「標準的な運賃」等の収受

- ドライバーの労働環境改善や働き方改革に取り組むための適正な運賃を収受

**02** 運送以外に発注する料金の収受

- 燃料サーチャージや付帯作業料金、高速道路利用料など